



ANKOM^{XT10} ファットアナライザー フィルターバッグ法による脂肪抽出装置

低コストの自動化抽出装置をご案内します！

- 米国油化学会 認定手順 – (AOCS Am 5-04)
- 最大15 試料を同時に抽出可能
- 手動分析時のバラつきを排除。
- 自動的に溶媒を回収。
- 設置面積が小さく、貴重な実験スペースを節約。

ANKOM^{XT10} エキストラクターは、ソックスレー方式の抽出を、低コストで、半自動化した装置です。溶剤リサイクル機能を持ったANKOM^{XT15} エキストラクター同様、XT10は、圧力および高温下で抽出を行うことにより、処理を高速化します。一度に最大15サンプル、1日で100サンプル以上を抽出可能なため、処理能力は、劇的に向上します。溶媒の回収は、約90%の割合で、自動的に行われます。この装置は、多くのXT15の特長をより低いコストでご提供します。



米国ANKOM Technology (アンコム・テクノロジー)社は、フィルターバッグ技術の開発元です。

検体試料をバッグに封入することにより、取扱いを容易にし、ほぼ完全に分析ミスをなくします。また、操作する方が、化学薬品に触れることもありません。フィルターバッグをご利用になれば、半自動化された装置内で試料をバッチ処理することにより、効率が格段に向上し、1日の処理可能試料数は劇的に増加します。また、ANKOMの自動分析装置が処理を行っている間、他の分析/研究に専念できるため、コスト削減につながります。常時監視は必要ありません。

- 正確な結果
- 高い精度
- バッチ処理
- 手動エラーの排除
- コスト削減
- 高い効率

ANKOM^{XT10}

ファットアナライザー

仕様

動作仕様	
試料重量:	1.0 ~ 3.0 g
油脂分範囲:	0% ~ 100%
1バッチ毎の試料数:	最大15バッグ
所要時間:	
粗脂肪抽出 =	30 ~ 60 分*
	*乾燥時間を除く。 抽出時間は試料の種類により、異なります。
1日の試料処理数	
粗脂肪抽出 =	最大100/日*
	*XT10は溶剤リサイクル追加を手動で行うため、次の抽出までの間に冷却時間が必要
装置仕様:	
稼動温度	90° C
大きさ(幅 × 奥行 × 高さ)	33 x 51 x 79 cm
電源	100 ~ 120V, 50/60 Hz, 10A
重量	44 kg



米国ANKOM Technology社は、繊維および脂肪の分析において、世界中で利用されているフィルターバッグテクノロジー(FBT)の開発元です。ANKOMの製品は、85カ国以上にユーザーを持ち、その品質とイノベーションで高い評価を受けています。ANKOM社は、お客様のニーズに応えるため、常に時間のかかる分析方法を改善する技術/製品を、研究開発しています。三紳工業は、50年の研究機関向け機器製造・販売にて培った経験をもとにANKOM社製品の購入のご相談から、購入後のアフターケアまで、一貫したサービスを提供します。

ANKOM
TECHNOLOGY

ANKOM Technology
2052 O'Neil Rd.
Macedon, NY 14502
Web: www.ankom.com

三紳工業株式会社
analyze more with SANSHIN.

〒222-0001
横浜市港北区樽町2-12-1
Tel: 045-531-7741 Fax: 045-531-9345
メール: info@sanshinkogyo.co.jp
Web: www.sanshinkogyo.co.jp